

令和5年8月7日

保護者様

中学校区一貫教育校園
玉野市立荘内中学校
校長 住田 義広

学習用端末の有効活用について

日頃より本校教育の充実についてご支援いただき、感謝申し上げます。

さて、ご承知のとおり、本校では新しい学びのかたちとして、学習用端末を活用した授業や課題提示等を行っているとともに、キャリア教育の視点からすべての教育活動で学習用端末を使用しています。

生徒たちが巣立っていく社会では、上司からの指示等がメールやSNSで行われ、スケジュールやタスク管理もクラウド上で管理し、業務上のコミュニケーション等もチャットやオンライン会議で行われことが常識となっています。

本校では、こうした社会で生きていくスキルを育成するため、学習用端末活用を進めています。生徒たちには、不適切な使用はしない事を指導し続けておりますが、不適切な使用をしてしまうことも多々あります。だからといって使用しないという後退してしまってはならないと考えております。

各ご家庭でも、何に使っているのか、どんな勉強をしているのか、お子さんの学習用端末の確認や適切な使用へのご指導等、よろしくお願いいたします。

次年度からは全国学力・学習状況調査もCBT(端末でのテスト)となるようです。また、様々な資格試験等もどんどんCBTでの実施となっているようです。数年後にはデジタル教科書となる計画もありますし、高校や大学での学習もデジタル化はさらに進化するはずです。

今後の社会全体のICT化に注視しながら、学校教育での効果的な活用を模索してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援よろしくお願いいたします。

記

- 1 各クラスのホームページで時間割スケジュールや課題等を把握するように指示しています。
- 2 学年や学級、各委員会や部活動、その他の教育活動ごとに Classroom を作成し、そこで情報共有や指示事項を確認したり、自分が発信するよう指示しています。
- 3 Gメールやチャットは、私的なやり取り以外で活用するように指示しています。
- 4 スタディサプリやAIドリル等は、自分の学習進度に合わせてどんどん活用するように指示しています。
すでに3年生の問題をがんばっている2年生もいます。